2
システム構成に必要なスイッチ操作

(1) スイッチの種類と設定

ア)ユニットアドレス設定(室外ユニット、室内ユニット、ネットワークリモコン、フリープラン用ロスナイ直膨タイプ)

ネットワークリモコンを使用する場合に必要です。各ユニットのアドレス設定スイッチにより、ユニットアドレスを設定する必要があります。アドレス設定は10進法にて行ないます。

※アドレスの重複はできません。

①アドレス設定範囲

ユニットの種類によりアドレスの設定範囲が決められていますので、下表を参照してください。

なお、ユニットリモコンにはアドレス設定スイッチはありません。

ユ ニ ッ ト	アドレス設定範囲	現 地 で の 設 定	工場出荷状態
室内ユニット	000, 001～050	2桁10進法 (100の位は0に固定されています)	000
フリープラン用 ロスナイ直膨タイプ	000, 001～050	2桁10進法 (100の位は0に固定されています)	000
室外ユニット	000, 051～100	3桁10進法	000
ネットワークリモコン	101～200	2桁10進法 (100の位は1に固定されています)	101
ユニットリモコン	スイッチ無し	無 し	—

ご注意

・ネットワークリモコンのアドレスを200とする場合は、1の位と10の位のスイッチをそれぞれ"0"に設定します。
アドレス000(工場出荷状態)は、自動アドレス対応となります。
(自動アドレス時は、ネットワークリモコンの使用はできません。)

②各ユニットのアドレス設定

『自動アドレスの場合』

・室内ユニット、フリープラン用ロスナイ直膨タイプ、室外ユニットのアドレスは全て000に設定します。（工場出荷状態）

・リモコンはユニットリモコンを使用します。（ネットワークリモコンは使用できません。）

『自動アドレス以外の場合』

・下表に従いアドレスを設定します。

・リモコンはネットワークリモコンを使用します。（ユニットリモコンは使用できません。）

ユニット	アドレス設定
室内ユニット	・001～050の範囲内で重複しないように設定します。 ・同一グループ内の室内ユニットは連番のアドレスとします。
フリープラン用ロスナイ直膨タイプ	・001～050の範囲内で重複しないように設定します。 ・室内ユニットと連動運転する場合は、ネットワークリモコンによる連動設定が必要です。
室外ユニット	・室内ユニットとフリープラン用ロスナイ直膨タイプの中で最も若いアドレスに50を加えたアドレスに設定します。従って、051～100の範囲となります。
ネットワークリモコン	・主リモコン…101～150の範囲内で重複しないように設定します。 「グループ番号（親機のアドレス）＋100」が主リモコンのアドレスとなります。 ・従リモコン…151～200の範囲内で重複しないように設定します。 「グループ番号（親機のアドレス）＋150」が従リモコンのアドレスとなります。

＊親機とは、グループの中で最も小さいアドレスの室内ユニットです。

イ）操作系立ち上げ選択スイッチ（室外ユニット）

室外ユニットは、リモコンと室内ユニットを自動的に接続するグルーピング機能を持っています。この機能はYM-103MTR（集中コントローラ）などの上位コントローラを接続するときは必要ないため、室外ユニットのディップスイッチSW4-1により切り換えます。

接続コントローラ	SW4-1
YM-103MTR-B（集中コントローラ）などの上位コントローラを接続するシステムの場合	ON
手元リモコンのみのシステムの場合	OFF （工場出荷状態）

＊集中コントローラでのグルーピング設定などについては、集中コントローラの説明書を参照してください。

ウ)主・従切り換えスイッチ(ユニットリモコン)
ユニットリモコンには主・従切り換えスイッチがあります。2リモコンシステムで使用するときは、主リモコン、従リモコンの設定が必要となります。

ユニットリモコン	主・従切り換えスイッチ
主リモコン	主(工場出荷状態)
従リモコン	従

エ)分岐口・ペアスイッチ(室内ユニット)
操作する必要はありません。(工場出荷状態"0"のままとします。)

(2) スイッチ操作上の注意

ア)スイッチの操作は、室内ユニット、室外ユニットともに電源を遮断した状態で行ないます。通電状態のままスイッチを操作しても設定した内容は、操作前と変わらず正常に作動しません。

イ)1システム内において、同一のユニットアドレスを設定することはできません。誤って設定した場合は、エラーとなり運転できません。